－ 3 － 山本　賜が見つけた滑稽句　　2008 年 8 月 18 日

～江戸前期の内藤丈草の作品から

血を分けしものと思はず蚊の憎さ

蚊に刺された。
刺した蚊と自分は同じ血を分けあったと詠んだところに俳諧がある。

春雨やぬけ出たまゝの夜着の穴

この時病に伏していた丈草。
夜着をぬけ出る丈草の姿が、病に伏している哀感を越えたものとしている。
夜着の穴で読者はほっとする。

花散るや覗きあひたる岩の穴

ごつごつした岩がふたつ。
どちらの岩にも目のような黒い穴が。
覗きあひたるで生命をもった岩。花散る背景がなんかかなしいですね。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。